

## ■過去の展示歴－2016年

04/25～05/21 「文理学部資料館の「今」」

06/06～07/22 「日大の発掘1－発掘実習の記録－」

10/24～12/23 「百人一首展」

平成28年度 日本大学文理学部資料館 展示会

## 「文理学部資料館の「今」」

会 期:平成28年4月25日(月)～5月21日(土)

開館時間:平日 10時～17時(土曜 13時まで)

休 館 日:日曜、4月30日(土)～5月5日(木)

※ただし、4/29(金)は、10時～17時まで開館。

---

### 展示会概要:

日本大学文理学部は、百有余年の歴史のなかで、研究や教育のための資料として、文学、歴史学、考古学、地理学、自然科学などに関する膨大な資料の収集をはじめ、その保管、展示及び調査・研究をおこなってきました。

文理学部資料館は、このような多年にわたり収集されてきた諸資料を学生・教職員及び一般の利用者に供することを目的として平成18年4月1日に設立され、平成19年3月29日付けで東京都教育委員会より博物館相当施設の指定を受けております。そして平成27年には創設より10周年を迎えました。そのなかで資料館は、展示公開に供する資料の購入や寄贈の受け入れなどを進め継続的な収集活動をおこなっています。

本展では、資料館設立から10年の軌跡と、これまでの活動から文理学部の「今」をご紹介します。

---

主催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

[▲ページトップへ](#)

平成28年度 日本大学文理学部資料館 展示会

## 「日大の発掘1－発掘実習の記録－」

会 期:平成28年6月6日(月)～7月22日(金)

開館時間:平日10時～17時(土曜13時まで)

休 館 日:日曜日

※ただし、7月17日(日)・18日(祝)は平日の時間で特別開館

---

### 展示会概要:

日本大学文理学部史学科では毎年夏に考古学実地研究(発掘実習)を、授業の一環として実施しています。今回は2011年から2015年の間に発掘をおこなった、加瀬台遺跡(神奈川県川崎市)と南中野遺跡(埼玉県さいたま市)の資料を中心に展示し、成果を紹介します。

また、考古学を学ぶ学生たちの姿や、発掘作業がどのようにおこなわれているかを知っていただく機会になれば幸いです。

---

主催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

協力:川崎市市民ミュージアム・さいたま市立博物館

[▲ページトップへ](#)

平成 28 年度 日本大学文理学部資料館展示会

## 「百人一首展」

### 【会 期】

平成 28 年 10 月 24 日(月)～12 月 23 日(金)

### 【開館時間】

平日 10 時～17 時(土曜は 13 時まで)

### 【休館日】

日曜日、11 月 28 日(月)・29 日(火)(展示替えのため)

※11 月 3 日(木)～11 月 5 日(土)・12 月 3 日(土)は平日の時間で、11 月 6 日(日)は土曜の時間で特別開館

---

### 【展示会の概要】

『百人一首』は、日本の古典作品のなかで、もっとも広く親しまれているものの一つといえるでしょう。今回の日本大学文理学部資料館展示会では、文理学部所蔵の古典籍資料を中心として、『百人一首』に関する写本・版本類を選び、展示紹介します。

『百人一首』は、藤原定家の撰になるものとして尊重され、室町時代には注釈書が成立し、歌人たちの学ぶべき古典としても読み継がれていきます。また、百人の秀歌撰という形式が、『新百人一首』『武家百人一首』などの多様な「異種百人一首」を生み出すことにつながり、さらには江戸時代の出版文化を背景にして多くの注釈書や類書も著述、刊行されます。女子用往来や絵入本、あるいは錦絵・かるたなどとしても愛好され、さまざまな文化・芸術の領域へ広がってゆくこととなります。そうした『百人一首』の享受の展開、様相を展示資料によってうかがい知るとともに、日本の文化・歴史についても考える機会となれば幸いです。

---

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【協力】有吉保氏(日本大学名誉教授)

蒲原義明氏(日本大学生物資源科学部教授)

日本大学国文学会・日本大学文理学部図書館

[▲ページトップへ](#)